

動物パレードの途中、翼を広げたイヌワシ



動物の行進に歓声

大森山「ふれあいフェス」

秋田市浜田の「あきぎんオモリンの森」(大森山動物園、小松守園長)の「春の動物ふれあいフェスティバル」が5日開かれ、家族連れら約2800人が訪れた。パレードやクイズ大会など多彩なイベントで終日にぎわった。

パレードはミニチュアがよちよちと歩いて愛嬌(あいせう)ホース、トナカイ、シロを振りまくと、来場者はフクロウなど9種類の動物の歓声を上げて喜んだ。物が行進。イヌワシが大「森のステージ広場」きく翼を広げ、ペンギンではパレードに登場した



注目を集めたペンギンの行進

動物やひよこと触れ合う体験会が開かれ、記念撮影を楽しむ親子や動物の体に恐る恐る触る子どもたちの姿が見られた。同広場では、同園のヒトロー「アニメマル戦隊ミルヴェンジャー7」によるクイズ大会も開催。ミニチュアホースの瞳の形や、シロフクロウの目の色を答える2択問題を解いた。義歯を作る際、歯の型を採る際に用いる石膏などを使った手形採取には行列ができた。(木村環)



同時開催の歯科技工フェアでも手形を取る子ども